

君よ人生の勝者たれ

校 長 武井 正明



まず吹奏楽部の皆さん。

私は君たちの演奏を聴かせてもらうのが、本当に楽しみだった。

4日コンクール直前の演奏、三日月の兜、独眼竜政宗の雄姿にプラスして、三日月に照らされる、葉にスルッと零れ落ちる夜露が見えた。何も楽器ができない自分だけけど、まるで自分が演奏しているような気分にならせてもらった。今度は定期演奏会で、

君たちの、音楽を心から楽しむ姿に触れたい。

そして野球部の諸君。

全中佐賀で暴れまくる君たちを夢見た。俺も一緒に夢を見た。

そこだけが夢で、後はみんな、悉く叶えてくれた。

長野日大に敗れた後、君たちは口々に「ごめんなさい」と泣き崩れた。それはなぜか。そこには、応援してくれる人への感謝の気持ちがあるからだ。それこそが君たちの成長の証だ。私はそれが、吉中校長として心から嬉しい。

君たちは私を倉敷に連れて行ってくれた。福井にも呼んでくれた。この間に、思いがけず私の父が急逝し、辛い時期も重なった。

そんな中で、病床の父の心の支えとなり、私の希望になったのは、君たちの姿だ。



勝負の世界は非情だ。勝者と敗者しかいない。

ただ、君たちの人生は、まだ何も始まっていない。夢は始まったばかりなのだ。

今日は負けたが、君たちは、これから歩いていく長い人生の勝者になればいいのだ。

君たちは仲間を信じ、全力を尽くし、全身全霊で、弱い自分と闘った。

その姿を、私はしっかり記憶に焼き付けた。きっと生涯、忘れることはない。

君たちは何も失っていない。寧ろ掛け替えのない、大きな何かを掴んだはずだ。私もそれを思い出した。

吹奏楽部、野球部3年生の皆さん、本当にお疲れさまでした。そして、ありがとう!!

これからも、ずっと君たちを応援しています。

